

エビオス10錠を一瞬で飲み込む方法。

私は胃弱なのでビール酵母『エビオス』を飲みだしたのですが、1回10錠はなかなかハードルが高い。しかし、偶然にナイスな技を発見しました。紙パックのビールをストローで飲んでいたら、エビオス錠を舌上に乗せてストローで吸ったら、「あれ？」口が空っぽに...消えた...飲み込んだ感触なし...ストローで吸った液体が喉に流れ込むとき、錠剤もさっさといくのでしょ。薬を飲むのが苦手な方、お試し下さい！楽です。薬が楽に♡



ピノキオから学んだ心を動かすということ

突然ですが、ピノキオ・クイズです。ひねらずにサラッと答えて下さいね。「ディズニーのピノキオはご存知ですよ。あのピノキオは、何かをすると身体の一部が変化します。さて、何をすると、どこがどうなるのでしょうか？」

正解は「嘘をつくと鼻が伸びる」です。

こんな簡単なことをクイズにする必要があるのかと思う人もいることでしょう。

しかし、私はこのピノキオの鼻が伸びることを知ったのは最近です。アラサーの女性常連さんに「久々にピノキオの映画を見たら、1940年制作だからか内容がディープで驚きました。機会があったら観て下さい」と言われたので見ました。そして、知りました。

その常連さんが次に来院したときに「ピノキオ見ましたよ。ピノキオって嘘をつくと鼻が伸びるんですね」とサラッと言ったところ、彼女は身体を一瞬ビクッとさせた後「知らなかったんですか!」と驚きの声を上げたのです。

私としては、その常連さんがハイテンションでリアクションしたことが新鮮でした。



その後、ピノキオクイズを連発したところ全員正解。そして若い年代の女性ほど「マジですか」「常識ですよ」とビビッたリアクションをしてくれます。この経験から、これも一種のサプライズなのかなと思いました。「そんなことも知らないの、信じられない」と思わせて、あえて感情を揺さぶっているのです。誰が得をするかは別問題です...

「イビピーオ！」心配という概念のないアマゾンの民ピダハン?!

著者はキリスト教の伝道師としてアマゾンの奥地に暮らす少数民族ピダハンの村に赴きます。そこでのビックリ、ドッキリ体験。そして、彼らと暮らすうちにキリスト教を布教するはずが、無神論者に転がってしまうのです。「お前は、そのイエスという男に会ったことはあるのか？」と著者はピダハンに聞かれます。「どうして知らない奴の言うことを信じれるんだ？」

『ピダハン』ダニエル・レ・エヴェレット
言語学者でもある著者はピダハン語を解明する目的もありました。驚いたのはピダハン語には“数字”も“色の名前”もありません。意味わかりますか？でもないんです。キーワードは「直接体験」。



ピダハン語には「イビピーオ」という言葉があります。これは「今、目の前で起った」的な意味の言葉。「飛行機が来た！イビピーオ」「ろうそくの火が消えた！イビピーオ」などです。この“今”を重要視することは徹底しています。ピダハンは「今踊りたい！」と思ったら2日間眠らずに踊り続けたりするそうです。さらに、食料の備蓄ということをしなない。「明日のことなんて知らん」です。未来の心配なんてしない。そして故人の話もしません。過去のことだから。万事がこんな感じ。そもそも“心配”という言葉すらありません。MITがピダハンの幸福度の調査をおこなったところ、現代人と比較したらピダハンの幸福度はハンパなく高かったそうです。みんな笑顔、いつも笑顔。

不安障害になると心が“今”ではなく未来や過去をさまよいます。未来を心配し、過去を憂い、頭の中が不安で膨れ上がります。冒頭に書きましたが、著者はピダハンと生活するうちに彼らに布教することをあきらめ、自分も信仰を捨てました。“神”よりも“今”を信仰するようになったのかもしれませんが、悩んでモヤモヤしたら「イビピーオ！」です。

ふと思ったのは、ピダハンの「先のことなんてしらん」思考は、江戸っ子の「宵越しの金はもたねえ」にも通じるのかなと思いました。「旦那、糶だねえ」なんて言われてたんですよね、当時は。そんな享乐的ともいえる江戸っ子が、もしもピダハンと出会ったとしたら意気投合したんじゃないでしょうか。

編集後記 『愛の若草物語』というアニメで、鼻が高くなるよう毎晩洗濯バサミで鼻をつまんで寝ていた少女がいました。真似したことがあるという話を聞いたことがあります。となると、ピノキオを見て「鼻を高くするにはウソをつけばいいのね、ウフフ」と心を躍らせた少女は世界にどれだけいるのでしょうか？ アニメって罪ですね... 【大泉】